

たも屋調理拠点 台湾・新北に開設

50店体制に備え

画。麺や具材の品質を守りながら量産し店舗展開に生かす。

セントラルキッチンが台北市に隣接する新北市に設ける。練り機や大型製麺機を置き、1日1万食の製造能力を備える。まずは台北市周辺の5店向けに、麺、トッピング用の肉や野菜を加工し配送する。3月1日に運用を始める。

今後は出店ベースに合わせ製麺機を増設するなどし、3年後までに台湾で計画する50店のうち約30店をカバーする予定だ。

讃岐うどん店チェーンを運営する、たも屋(高松市)は台湾にセントラルキッチン(集中調理施設)を開設する。同社は昨秋以降、台湾に8店を構えており、2019年までに50店に増やす計